

第4回 統合準備委員会

1 傍聴要領の改正について

- ・ 記名手続きを削除（資料2)(資料2-1)

2 第1回から第3回までの協議について

- ・ 第3回意見記録まとめ（資料3)

3 その他

- (1) 部会設置について
- (2) 統合小学校改築設計について

4 委員会意見のとりまとめについて

2 第1回から第3回までの協議について

事務局報告

第1回会議

令和7年12月

- ・ **統合方法について**
- ・ 学校学習環境規模適正化推進計画について
- ・ 校舎の改築について

第2回会議

令和8年2月

- ・ アンケートの実施結果速報値
- ・ **統合方法による違い**、その他質疑等について補足説明

第3回会議

令和8年5月

- ・ 意見交換結果のまとめ
- ・ 統合方法によるコスト等の他市事例

第4回会議

令和8年7月

- ・ 意見交換結果のまとめ

協議概要

- ・ 統合方法について協議を進めていくに当たり、地域や保護者の意見も参考にするため、委員会としてアンケートを実施することを決定

- ・ 統合方法（新設統合/校区再編）について意見交換

- ・ **意見内容を整理し、重要な視点を抽出**

- ・ 重要な視点の検討

- ・ 各視点の重要度整理

- ・ **より重視すべき視点**

- ・ これまでの協議内容の整理、付帯意見等の確認

- ・ 委員会意見のとりまとめ

- ・ 教育委員会定例会へ報告・協議

アンケート実施

令和8年1月～2月

2 第1回から第3回までの協議について

統合方法について

第1回に提示した資料を一部編集

項目	新設統合 重春小、芳田小ともに閉校し、新しい統合小学校を開校する	校区再編（吸収統合） 芳田小を閉校し、重春小へ統合（校区再編）する
校名・校歌等	・原則変更 （制度的には、校名を変えない選択肢もありうる）	・変わらない。
校史・沿革等	・両校とも一旦閉校となる（両校の校史の継承方法等について検討が必要）。	・重小の校史が継続される（芳田小の校史等の継承方法について検討が必要）。
子ども・保護者への影響等 （統合による影響のうち、統合方法が大きく関係するもの）	・校名、校歌等が変更になるので、統合校の全ての児童に影響がある。 ・学用品等は統合時、統合前のもの等を使用することで負担を軽減できる。	・統合先（重春小学校）へ通うことになる芳田小学校の児童は、校名、校歌等が変更になるので影響がある。 ・学用品等は統合時、統合前のもの等を使用することで負担を軽減できる。
その他（検討の負担）	・検討項目が数多くあり、検討や手続きが比較的多い。 ・両校とも閉校するため、記念行事等を両校とも行う可能性がある。	・検討や手続きが比較的少ない。 ・閉校は芳田小学校のみであるため行事は1校のみとなる。

➡**どちらの統合方法であっても、児童の通学安全・心のケア・交流の段階的推進（合同学習・クラブなど）は、同等に検討します。**また、**校舎の改築（建替え）も実施**します。

2 第1回から第3回までの協議について

【第2回会議】

これまでの資料、アンケート結果などを踏まえて、委員個人としての統合方法に関する考え方を意見交換

・新設統合が望ましい。なぜなら x x x x x

・校区再編が望ましい。なぜなら x x x x x



理由・意見（x x x x）の部分から視点を抽出

●抽出した視点

未来、歴史、新しさ、愛着、一体感、費用、対等感、労力、活性化、安定感

【第3回会議】

抽出した視点

未来、歴史、新しさ、愛着、一体感、費用、対等感、労力、活性化、安定感



第3回会議協議で追加した視点

安全、子どもにとって何が大切か、目指す学校像（どんな子どもを育てたいか）、いじめ

より重視すべき視点を協議

●協議結果【資料3】参照

対等感、未来、新しさ、一体感といった視点がより重視すべき視点として挙げられた。

3 その他

(1) 部会の設置について

統合準備委員会では、所掌事項及び組織について、委員会において協議の上、専門部会を設置することとしています。

重春地区・野村地区・芳田地区統合小学校統合準備委員会

設置（例）



通学先が変更となる**芳田小校区**について検討すべき課題が複数あります。

地域部会

芳田小校区の委員全員を構成員として、他部会に先行して設置。第1回の会議開催時期等については今後調整します。

3 その他

(2) 統合小学校（現・重春小学校） 校舎の改築について



統合小学校を、子どもたちの新しい学びの場として、ふさわしいものとするだけではなく、新しい校区の地域の皆さんにとっても親しまれる場となり、生涯学習や地域交流の場としての役割を果たすことが期待されます。

そのため、設計業務にあたって、子どもたちや保護者をはじめとする地域住民、教職員等の意見聴取（ワークショップ、アンケート等）、説明会などを実施しながら事業を進めたいと考えています。

子ども向けWS

地域向けWS



統合準備委員会 または 部会

教職員向けWS

4 委員会意見のとりまとめについて

【第4回会議】

1 グループ内意見交換

【40分】

- 
- (1) これまでの意見内容の振り返り、疑問点等の確認
 - (2) 配慮すべきこと、留意すべき少数意見など
 - ▶ とりまとめ時に付帯意見、少数意見として整理

2 委員個人意見（無記名による投票）【10分】

- 
- (1) 新設統合 または 校区再編（吸収統合） のどちらか を記載
 - (2) 支持する理由、付帯意見、少数意見として付記すべき事柄 を記載

※本日の出席状況に応じて重春小校区と芳田小校区の委員が同数となるように、委員長副委員長が投票しないことで調整します。教職員は統合方法の投票はせず、意見等の記載のみとします。

3 委員会意見のとりまとめ

【10分】

- (1) 投票結果の確認
- (2) これまでの協議結果をとりまとめ、教育委員会定例会（7月）に報告します。
報告内容については委員長、副委員長と協議のうえ会議後に作成します。